

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
1	10番 保坂好一 予定日時 6月6日(火) 10:00～11:00	消防団について	1. 団員確保について	仕事を持ちながら災害時、火災予防活動など市民の生命と財産を守るために活動を行う消防団員であります。定員数に満たない現状であります。今後の方針をお伺いします。
			2. 分団統合について	44個分団及び機能別消防団の受け持ち区域では広範囲のところは25.32K㎡であり小さい範囲では1.59K㎡です。 良し悪しの判断は一概には地形など含め検討が必要ですが、分団統合は必要性が高いと思います。ご所見をお伺いします。
			3. 機能別消防団員制度について	機能別消防団員制度は平成21年4月1日に導入され、現在は団員実員883人中134人が機能別消防団員です。 消防団員確保が難しい中において機能別消防団員の活躍も期待されると考えますがご所見をお伺いします。
			4. 消防協力隊について	大規模災害などの際に各地域において活躍が望まれる消防協力隊ですが、活動状況と今後の課題をお伺いします。
		商業施設の誘致について	ダイエー跡地の利活用について	ダイエー君津店の跡地の利用については、商業施設としての活用をダイエーに働きかけをおこなってきたところ、本年5月を目途にイオンタウン株式会社に売却され、商業施設を建設する予定であるとの報告を受けたとの話がありました。その後の進ちょく状況についてお伺いします。
		君津メディカルスポーツセンターについて	1. 運営委員会について	実質1年以上会議が開催されていないことについて、会議の未開催を放置することは好ましくないと思います。なぜ開催できないのかお伺いします。また、運営委員会規程に基づいた会議が今後開催されるのか伺います。
			2. 砂風呂廃止後の後処理について	君津市が要望して作った砂風呂ですが、廃止後の後処理について市としてどのような考えを持っているのかをお伺いします。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			3. 運営助成金のあり方について	君津メディカルスポーツセンターは君津市からの誘致事業により進出した事実と、市民プールの位置づけもあることから、燃料費（水道光熱費）と建物施設（機械整備費など）の適正負担などが考えられますが、ご所見をお伺いします。
			4. 所管部署の変更について	市民の健康維持管理、病気の改善効果など健康増進に関わることの多い現状を踏まえ、関係機関との協議はどこまで進み、また、方向性をどう見ているのかをお伺いします。
		君津市勤労者総合福祉センターについて	施設維持・改修等の取り組みについて	君津市勤労者総合福祉センターは小破・部分修繕はしていますが、計画に基づく適切な改修工事を実施していません。 躯体保全と利用頻度の向上を考え、改修工事が必要と考えますが、ご所見をお伺いします。
		公共施設等総合管理計画について	公共建築物施設総量削減とインフラ設備長寿命化計画について	施設総量削減の進め方及び、平成32年度まで長寿命化計画を策定するとありますが、その概要についてお伺いします。
2	6 番 松 本 裕次郎 予定日時 6月6日（火） 11:15～12:15	快適な職場環境づくりについて	勤務管理状況について	社会的責任や法令順守などから、大きな問題となっている勤務管理ですが、職員の意識改革を図り、働き方を見直し、時間外労働を減少させることが必要と思われますが、本市はどのような取り組みを行っているのか伺います。
		君津市「まち・ひと・しごと創生」総合戦略について	きみつ「風」を感じるプロジェクトについて	きみつ「風」を感じるプロジェクトでサイクルマップの作成を行いました。また、ロードサイクルには必要であるサイクルスタンドを君津市内に4ヵ所設置しましたが、その後の効果について伺います。
		高齢者福祉について	運転免許返納者への対応について	交通事故の死亡者数は年々減少傾向にある一方、65歳以上の高齢者の係わる事故の割合は高くなっています。こうした中、運転免許自主返納という制度があります。自治体の中には、運転免許自主返納者に優遇措置を取っているところもありますが、本市の取り組みについて伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		防災対策について	防災行政無線のアプリ連動について	防災行政無線のデジタル化に向けて、平成29年度は予算措置されています。このデジタル化の移行とあわせて、防災行政無線とスマホアプリと連動したシステムの検討を行うと聞いていますが、現在の進ちょく状況について伺います。
		都市基盤の整備について	君津パーキングエリアスマートインターチェンジについて	君津パーキングエリアには、スマートインターチェンジが設置されていますが、普通車限定のハーフインターチェンジとなっています。今後、大型車への対応や観光客を考慮したフルインターチェンジへの移行が必要と思われますが、今後の予定について伺います。
3	5番 石上 壘 予定日時 6月6日(火) 13:15～14:15	健康増進について	1. 健康増進拠点の整備について	1. 小糸川右岸遊歩道については、衝撃緩衝材が設置されており利用者への配慮がされていますが、木の根などの影響もあり緩衝材の浮き上がりや、めくれが散見されます。補修計画はあるのか伺います。 2. 小糸川右岸遊歩道については、街路樹が覆い茂り、街灯の明かりが遊歩道まで届かず、暗がりとなって、利用者の不安を払拭できない箇所が多くあるように感じます。照明の増設または、位置変更等柔軟な対応が必要と考えますが、その考えがあるのか伺います。また動線上にある大道沢公園の整備も連携して実施することで、利用者拡大を図り、健康増進への誘導、参加者増加に繋げるべきであると考えますが、見解を伺います。 3. 内みのわ運動公園はスポーツや健康増進の拠点となっていますが、施設整備等の計画はないのか今後の見通しを伺います。
			2. スポーツ振興について	施政方針には、各種スポーツ大会等の充実に努めるとありますが、どのような考えがあるのか伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		安全・安心なまち について	防犯活動の拠点整備について	1. 本市で初めて防犯ボックスの設置が決まりましたが、先進的に導入された他市での状況はどのようなものか。また、本市の設置箇所は決まっているのか伺います。 2. 盗難等の犯罪が増加していますが、電話d e 詐欺被害の防止に向けた啓発のような取り組みの実施予定、警察署と連携した取り組み予定はないのか伺います。
		公共施設等総合管 理計画について	1. 教育施設について	学校施設のひとつであるプールが利用できない学校がありますが、平等な教育を提供する観点から、今後の方向性について伺います。
			2. きみつ自然体験センター清和ふれあい館 (旧国民宿舎清和) について	県と別途協議中であるとの見解でしたが、その後の状況について伺います。
			3. 本庁舎整備事業について	1. 現在西側外壁補修を実施中であり、今年度予算に東側外壁補修が盛り込まれていますが、南北外壁の計画ならびに耐震補強は並行してできないのか伺います。 2. 防災拠点の方針は早急に定め拠点を設置する必要があると考えますが、検討はどの程度進んでいるのか伺います。
		子育て支援につい て	ひとり親家庭等生活向上事業について	新規事業としてひとり親家庭等の学習支援を実施する予定ですが、事業の詳細について伺います。また、事業にあたり各家庭・子どもへの配慮はどのように考えているのか伺います。
		観光事業について	宿泊・滞在型観光推進事業について	久留里と亀山地域の観光推進事業ではありますが、予定されている内容を伺います。また情報発信力が大きなカギを握ると考えますが、どのようにPRしていくのか併せて伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
4	8番 奈良輪 政 五 予定日時 6月6日(火) 14:30～15:30	教育行政について	1. 学校再編に係る統合準備室の設置について	学校の統合を円滑に実施するための組織である統合準備室について、小糸清和地区に先行的に設置される予定ですが、現在の進捗状況について伺います。
			2. 統合に伴う児童生徒への配慮について	学校の統合を実施するにあたり、施設整備など教育環境の整備、通学手段の確保は当然ですが、重要なことは児童生徒への心のケアとそのサポート体制であると考えます。通学する校舎や環境が変わる児童生徒へ安心感を与えられるよう、統合対象校から統合校へ教職員を一定数配置するなど具体的な配慮が必要と考えますが、見解を伺います。
			3. 統合に伴う事前交流事業について	学校統合を円滑に進めるためには、事前準備、特に生徒間の事前交流が重要であると考えますが、今後、具体的に、どのような交流事業を予定しているのか伺います。
			4. 特色ある教育の推進について	学校再編基本計画に謳われている魅力ある学校づくりの柱の一つに「特色ある教育」があります。中でもキャリア教育、コミュニティスクール等は地元資源の有効活用と活性化に資するものと考えますが、今後、どのように展開するのか伺います。
		まちづくり構想について	1. 公共交通の空白地域について	本市における公共交通の空白地域は中山間地域を中心に多く点在しているのが現状です。特に清和小糸地区においては高齢者の交通手段の確保はもとより公立高校への通学手段の確保は喫緊の課題であると考えます。そこで本市における公共交通の空白地域の捉え方と小糸清和地域における君津市地域公共交通網形成計画を今後どのように見直していくのか伺います。
			2. 空き公共施設の利活用について	空き公共施設の利活用に関する基本的な考え方について伺います。
			3. 清和診療所の今後の方向性について	今後は在宅療養支援診療所として開所の準備をしているとのことですが、その場合の医療体制について伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			4. (仮称) 清和地区観光交流センター整備事業について	計画策定時と現在の社会情勢の変化を踏まえつつ、施設整備について協議を進めるとのことでしたが、(仮称) 清和地区観光交流センターの整備に関する考え方について伺います。
5	18番 三浦道雄	行財政運営について	行財政運営に当たっての市の基本的立脚点・考え方について	1. 市民協働のまちづくりの理念について改めて伺います。 2. まちづくりを進める中で「市民が主人公」という言葉をよく耳にしますが、市の認識について伺います。
	予定日時 6月7日(水) 10:00～11:00	教育行政について	1. 学校再編第1次実施プログラムについて	学校再編第1次実施プログラムは、保護者、市民等の理解・合意も得られていません。学校再編第1次実施プログラムは、市民合意が得られるまで凍結すべきだと考えています。見解を伺います。
			2. 新学校給食共同調理場建設について	新学校給食共同調理場建設については、未だ市民等への説明会は開かれていません。見解を伺います。
		医療・福祉行政について	1. 国保の広域化について	国保の広域化に向けて準備は進められているのか伺います。私は広域化への懸念を持ちますが、市の認識を伺います。
			2. 社会保障制度の危機について	1. 介護保険法の改悪が進められています。「保険あって介護なし」といわれている制度をさらに後退させては、利用者・事業所・労働者等の現場はさらなる深刻な実態となると思いますが、見解を伺います。 2. 公的年金制度の一部改善及び生活保護の現状について、特徴的な課題があれば伺います。
		環境行政について	産業廃棄物最終処分場の推移について	新井総合施設株式会社の動向とその後の産業廃棄物等の搬入状況について伺います。

平成 2 9 年第 2 回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨
6	7 番 平 田 悦 子 予定日時 6 月 7 日 (水) 11 : 15 ~ 12 : 15	教育環境について	1. 学力向上及び学習環境の充実について	新学習指導要領が 3 月に告示となり、小学校は 2 0 2 0 年度、中学校は 2 0 2 1 年度から全面実施となります。学習指導要領の改訂が近づく中、本市では同時期に学校の統合などもあり、小中学校の児童生徒の教育環境への影響が懸念されます。そのような中で、本市ではどのように学力向上及び学習環境の充実に取り組んでいくのか伺います。
			2. 君津市指導補助教員の採用状況について	1. 学力の向上には、一人ひとりの児童生徒に対するきめ細かな指導が求められます。本県では今年度より小学 3 年生から 3 5 人学級の実施が学校ごとの判断により可能となりましたが、本市での導入状況を伺います。 2. 本年度の君津市指導補助教員の採用状況について伺います。また、県職の臨時的任用講師は今年度より年齢の上限が 6 5 歳までとなり、定年退職後の元教員も勤務できることとなりました。指導補助教員の採用条件についてどのように考えているのか伺います。
		放課後児童クラブの運営について	放課後児童クラブの運営に対する市の関わり方について	1. 市内には現在 1 5 の学童保育クラブが運営されていますが、小学校ごとの保護者が運営を行っているクラブが多数あります。運営に関して、市はどのように協力をしているのか伺います。 2. 市のホームページには 1 5 クラブの一覧表が載ってはいるものの、申し込み先がそれぞれの学童保育クラブであることや、入会金や保育料など、それぞれのクラブの規定が違うことにより、運営する側、申し込む側の両方に負担があると感じます。今後、学童保育クラブの運営に関して市が統一の規約などを作る考えはないのか伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		観光施策について	1. 地方創生交付金活用事業について	地方創生交付金活用事業の外部評価が公表されましたが、市としては効果についてどのように捉えられているのか伺います。
			2. 第2次君津市観光アクションプランについて	1. 平成28年度までに完了した「君津市観光アクションプラン」の成果がどのように活かされているのか伺います。 2. 清水溪流広場が話題になったことにより、ここ数年で君津への観光客は増えていますが、経済活動に繋げるためにはそれに合わせた市内観光などを提案していく必要があると考えます。 今後の第2次君津市観光アクションプランの推進においては、マーケット調査を行い、観光客のニーズの把握・分析を行うことが重要と考えますが、その点においてどのような考えをお持ちか伺います。
		スポーツ振興について	トップアスリートとの交流によるスポーツ振興及び地域振興について	1. 本市出身のパラリンピック銀メダリストが活躍をしているボッチャ競技を、君津市ならではの市民スポーツとして普及させていく考えがあるのか、また、どのような取り組みを行っているのか伺います。 2. 7月に行われる女子ソフトボールの強化合宿において、市内の小中学生や高校生など、子どもたちとの交流を実施することでアスリートの育成にもつながると考えられますが、どのような取り組みを行うのか伺います。
7	4 番 野 上 慎 治 予定日時 6月7日(水) 13:15～14:15	市民のためのまちづくり推進について	1. 市民協働のまちづくりについて	4月より「まちづくり推進課」が設置されました。今後、市民協働のまちづくりの中心となっていくことと思います。市民協働のまちづくりは、直接民主制の要素を取り入れて、まちづくりを進めていこうという考え方ですが、現在の君津市の課題をどのように捉え、今後、どのような施策を行おうと考えているのか、お伺いします。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2. 文化のまちづくり市税1%支援事業について	この事業は平成20年度より、市民協働のまちづくりの目玉として始まり、10年目を迎えるわけですが、市民活動育成のため、どのような効果があったのか、また、今後どのように発展させていくお考えなのか、お伺いします。
			3. 若者の政策形成過程参画について	平成25年に内閣府が7ヵ国（日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン）の満13歳から29歳までの若者を対象に実施した意識調査では、「社会をよりよくするため、社会問題に関与したい」と思っている日本の若者の割合は4割強、「私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない」と思っている割合は約3割にとどまっております、いずれも日本が最低となっています。若者の政治的無関心の一因は、若者の声が政治に反映されにくく、若者が社会における影響力を実感しにくいと考えられます。議会においては、高校生模擬議会を昨年から始めたところですが、若者の政策形成過程への参画について、どのように考えておられるのか、お伺いします。
		子どもが育つ学校づくり推進について	1. 周西中学校区4校の連携について	周西中学校区には、小学校2校、中学校1校、高等学校1校、さらにポリテクセンターが隣接しています。また、君津高等学校では、教職コースの設置を予定しています。これらの学校や施設が綿密に連携し合うことにより、子ども達の教育環境は、さらに良くなると考えます。周西中学校区の今後の構想についてお伺いします。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2. 「部活指導員」制度の導入について	OECDの国際教員指導環境調査によれば、1週間当たりの教員の勤務時間は、参加国の中で最も長く「過労死ライン」とされる週20時間以上の残業を行った中学校教員は約57%にも上っています。また、部活動など課外活動の指導時間は、参加国の平均の3倍以上という状態です。この状態は、早急に改善されなければなりません。4月より、中学や高校の部活動に地域の文化・スポーツ指導者らが「学校職員」として積極的に関わられるようになりました。この制度により、教員の負担が軽減されると共に、指導を受ける生徒にとっても効果が期待できます。本市においても早急に取り入れていただきたいと考えますが、ご所見をお伺いします。
			3. 小学校英語の教科化への対応について	2020年度より小学校5・6年生においては英語が教科となり、週2時間、授業時間が増加し、児童並びに教職員への負担は増加します。今でさえ、1日の勤務時間が11時間を超えている状況が、さらに悪化することが予想されます。これ以上、教職員の負担が増えることは、教育の質の低下を招きかねません。また、職員会議や研修の時間を勤務時間内にとることさえ、難しくなり、スムーズな学校運営や教職員の力量向上が難しくなります。これを解決するためには、年間の授業日数を増やし、週の授業時間数を軽減することが効果的と考えますが、ご所見をお伺いします。
			4. 教職員の人事評価制度について	地方公務員法の一部が改正され、新たな人事評価制度が始まりました。教職員に対する人事評価制度も昨年度より始まりました。教育は、教師の力量、意欲に大きく左右されます。新しい制度が、教師の力量や意欲を高めるものになるよう切に望むものですが、新制度の目的、内容についてお伺いします。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		若者が育つ進学、 就労支援について	1. 中学校の特別支援学級に在籍している生徒 の進路指導について	小学校・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒の人数は増加しています。近年、文部科学省において高等学校における特別支援教育のあり方が論議され、今年度より支援学級の設置も可能となりました。本市において、中学校の特別支援学級に在籍する生徒の進路選択の自由は、保障されているのか。また、生徒を支援するための中高の連携や生徒に対する相談活動などが、行われているのかどうかお伺いします。
			2. 障害を持った若者の就労支援について	障害を持つ子どもの親の願いは、子どもが就労により自立し、安定した生活を送れるようになることです。障害を持った方々が元気に働ける社会は、健全な社会です。その就労の推進のためには、企業や市民の間における意識の向上や幅広い理解が欠かせません。このため、市や事業所、市民等のそれぞれが協働の精神をもって、積極的に障害のある人の就労の推進に協力するための仕組みを作ることが大切であり、その中心を担うのは市であると考えますが、ご所見をお伺いします。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
8	3 番 佐 藤 葉 子 予定日時 6 月 7 日 (水) 14 : 30～15 : 30	マイナンバー制度 の活用について	1. マイナンバー制度導入による行政運営の効率化について	平成27年10月から一人ひとりに個人番号が付与された「通知カード」が送付され、平成28年1月からマイナンバー制度が導入されましたが、行政運営上の改善効果について伺います。 また、本市の「通知カード」未受領世帯への対応と課題について伺います。
			2. マイナンバーカード（個人番号カード）交付による市民メリットと普及策について	1. マイナンバーカード（個人番号カード）は本人の申請により交付され、本市におけるマイナンバーカード（個人番号カード）の申請数は今年4月末時点で10,811件、発行数9,323枚です。今後本格化する運用に向けて、さらなる普及とともに利便性向上を図るべきと考えますが、マイナンバーカード交付による市民メリットと、普及策について伺います。 2. マイナンバーカードを利用して、住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍証明書などが全国のコンビニエンスストアで取得できるコンビニ交付サービスは、全国の自治体に拡大中ですが、本市での導入に関して見解を伺います。
			3. 今後の活用の構想と準備状況について	便利な暮らし、よりよい社会を目指すマイナンバー制度ですが、①医療分野②子育て分野③経済分野④災害分野における本市の各分野での活用の構想と準備状況について伺います。
		子どもの貧困対策 について	1. 子どもの貧困に対する本市の実態把握と取り組みについて	「子ども貧困対策法」「子どもの貧困対策大綱」などを踏まえ、子どもの貧困に対して、本市の実態をどのように把握され、取り組まれているのか伺います。
			2. ひとり親家庭等の保護者に対する支援について	ひとり親など大人が一人だけの世帯の貧困率は5割を超えており先進国の中で最も高い水準です。本市の「子どもの貧困」と関わる世帯に対する支援の取り組みと拡充について伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			3. 学習支援事業の実行計画について	子どもの将来がその生まれ育った環境によって左右されず個々が希望を持って挑戦できるよう、全国の自治体で学習支援や居場所の提供等を行う学習支援事業が広がっています。本市は今年度新規事業として生活困窮者支援とひとり親支援を兼ねて開始されますが、実行計画について伺います。
			4. 就学援助制度の運用改善について	学校教育法第19条の「経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は必要な援助を与えなければならない」という規定に基づき、就学援助を実施されています。本市の対象者数、支給内容、支給時期など、また入学準備金の支給時期について伺います。
9	15番 池田文男 予定日時 6月8日(木) 10:00~11:00	君津市学校再編について	1. 統合準備室の構成と対象地域における今後の進め方について	学校の統合対象となった各地域で統合準備室を設置することです。その構成と役割、運営方法について伺います。 また、小糸清和地区で設置した後、小櫃上総地区での進め方について併せて伺います。
			2. 地域振興について	統合により、学校がなくなる地域については、地域の活力が失われていく可能性があると考えますが、今後、当該地域の振興をどのように進めていくのか、見解を伺います。
		東京オリンピック・パラリンピックでの君津市の振興策について	君津の名水の活用について	幕張メッセについては、2020年東京オリンピックのフェンシング、レスリング、テコンドーに加え、パラリンピック競技、4競技が開催されます。そこで、平成の名水100選に選ばれている君津の名水を、競技会場である幕張メッセで頒布するなど、新たな事業展開の糸口としてはどうかと考えますが、見解を伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		観光行政について	観光での地域活性化について	観光振興は、市内での消費を伴うことで、地域の産業や経済の活性化、さらには、交流人口の増大に資するものと考えます。そのような中、君津地域を観光で活性化すべく、去る、5月15日、君津地域4市の首長をはじめ、商工、観光団体など、多くの関係者が参加し、シンポジウムが開催されました。そこで、シンポジウムを契機とした今後の観光施策の展開について伺います。 また、本市の観光振興にあつては、久留里線のさらなる活性化が望まれるところでありますが、併せてご所見を伺います。
		道路行政について	国道410号バイパス整備の進ちょく状況について	国道410号久留里馬来田バイパスは、平成25年に俵田地先まで、今年5月21日に富田地先まで開通しましたが、現在までの進ちょく状況及び未整備区間の見通しについて伺います。 また、俵田地先までの開通後、すぐに交通事故が発生したと聞いていますが、安全対策は取られてきたのか伺います。 併せて、同バイパスの整備主体は千葉県であるが、市として事業の促進に向けてどのような対応を図っていくのか伺います。
10	9番 船田兼司 予定日時 6月8日(木) 11:15~12:15	第2次まちづくり 実施計画について	1. 農業振興について	近年の燃料や飼料などの高騰、農産物の価格低迷などにより、農業所得が不安定な状況にあるとともに、政府からは2018年につくるコメから減反施策をやめる方針が示されています。現在は高い補助金で家畜飼料米への転作を誘導し、2018年以降も計画的な生産が続く可能性が高いが、農業経営者への影響と課題、今後の農業振興の取り組みについて伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
			2. 有害鳥獣対策について	有害鳥獣の被害地域及び生息地域が拡大しており、農業者の生産意欲の低下や離農、耕作放棄地発生の一因となっています。捕獲事業を支える従事者の育成・確保、捕獲体制の整備や捕獲技術の向上、捕獲した後の処理に関しての支援について伺います。また、行政区域を越えて広域に移動する鳥獣に対応するため、近隣市町村の連携による追い払い等の被害防除等の取り組みについて伺います。
			3. 公共交通網整備について	東京湾アクアライン等を経由して都心などの主要都市を結ぶ高速バスは、市民や対岸からの来訪者の交通手段として重要な役割を果たしています。利便性を高めるため、利用ニーズの高い路線の増便、新たな方面への路線やバスストップの新設の可能性について伺います。
		中心市街地活性化について	1. 既成市街地の土地利用について	今後もさらに人口減少・少子高齢化が進んでいくものと考えられ、既成市街地でも、空き家の増加や空洞化が懸念されています。都市計画マスタープランを指針とし、既成市街地での空き家や低未利用地を活用し、商業業務機能や行政サービス機能が集積した市街地形成を描きながら、集約型都市構造を目指すための土地利用を今後どのように進めていくのか伺います。
			2. ダイエー君津店の跡地利用について	中心市街地の商業拠点として営業を続けてきたダイエー君津店が閉店し、建物等の解体作業が進み、「公有地の拡大の推進に関する法律」に基づく届出もされ、跡地利用に関し土地所有者から一定の方向性が示されています。ダイエー君津店跡地の状況と今後の利用方針について伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
		地方創生について	交流人口の増加施策について	地方創生加速化交付金を活用した里山プロジェクトや、地方創生推進交付金を活用した里山インバウンドプロジェクト、昨年7月に始動した地方創生を目指すアイデアコンテスト事業「キミクリ」に関し、成果や課題、今後の取り組みについて伺います。また、木更津市を中心に進められているクルーズ船誘致に関して、本市としての取り組みについて伺います。
		教育行政について	1. 市街地における学校再編について	学校の小規模化は市街地でも進行しており、市街地での学校再編は急務であると認識している。今年度は、市街地を中心とした第2次実施プログラムの策定に向け取り組むとのことであるが、そのスケジュール、手続き等について伺います。 また、当該地区での学区の再編についての考え方についても併せて伺います。
			2. 貧困の連鎖について	しっかりとした環境で十分な教育を受けることで将来子どもが貧困層から富裕層に逆転するチャンスを作ることが重要だと考えます。貧困の連鎖を断ち切る、効果の高い「学習支援プログラム」の構築へどのように取り組んでいくのか伺います。
11	2番 下田 剣 吾 予定日時 6月8日(木) 13:15～14:15	市民の命を守るための防災対策	津波避難対策について	1. 津波被害が想定される小糸川河口部の神門・人見地区の津波避難対策について、様々な課題が指摘されてきましたが、改善は進んだのかお聞きします。 2. もし大地震が起き、津波に襲われた場合、近くにいる市職員や消防団員はどのような対応をとることになっているか、またその対応を取るための準備をどのように図っているのかお聞きします。

平成 2 9 年第 2 回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨
		健康都市の実現の ために	1. 健康な生活のための歯の重要性について	1. 3月議会では健康都市連合への加入など健康都市づくりへの道すじが示されましたが、具体的な課題として、本市はもっと健康と歯との重要な関係性に関する啓発や目標設定をすることが重要だと考えます。平成23年の新しい法律で、虫歯や歯周病が体全体の健康に大きく関わっていることが認知され始めています。本市でも法律に基づいた積極的な取り組みが必要だと考えますが、見解をお聞きます。 2. 全国の学校や保育園で、虫歯の予防や治療がほとんどなされず、「口腔崩壊」といわれるような状態にある児童生徒が見つかっています。本市ではそういうことはないのでしょうか。また、こうした事態を防ぐためにも、学校、保育園での歯科検診だけでなく、その後きちんと治療をしたのかフォローし、治療を受けさせていくことも重要だと考えますが、見解をお聞きます。
			2. 予防接種について	市が勧奨してハガキなどを送っている場合でも製薬会社や在庫の事情などで市内で予防接種できない場合があります。接種可能な医療機関などの情報収集や提供をする方が市民にとっては良いのではないかと思いますが見解をお聞きます。
		市役所の経営改革 について	1. 市の預貯金通帳の管理について	5月19日、千葉県は県庁の預金通帳の実態調査の結果を発表し、約9,300万円の使途不明預金などが公表されました。本市でも各課で管理している事業や国や県の補助金などに対応してつくられた協議会などの任意団体に関わる口座があると考えますが、これまで調査していないのではないのでしょうか。使用見込みがないのに放置されている通帳がないのか等、管理の実態をお聞きます。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大綱	細目	質問の要旨
			2. 人材の活用、育成について	本市にも国や県から派遣された職員や、元自衛官や民間企業の経験者など多彩な職員が増えています。しかし立場によっては限られた数年の派遣期間であることから、その人材の持つ知識や能力を多くの市職員が共有するには工夫が必要ではないでしょうか。今、市役所にいる人材を講師として研修や情報共有を行っていくべきと考えますが、見解をお聞きします。
		消防政策について	消防本部の適正な運営管理について	1. 社会情勢が変化する中で、消防団を改善・強化し、消防団員や家族の負担軽減をどう図るのか、計画とスケジュールをお聞きします。 2. 以前、火災出動のために職場を離れた消防団員について、その意義から欠勤ではなく公欠や公欠に準じた扱いにする事業所もあったと聞いています。現在は団員が火災出動した場合、どのような扱いになっているのでしょうか、消防団協力事業所を中心に現状をお聞きします。
		高齢者の支援について	地域ケア会議に寄せられた意見を反映するための取り組みについて	地域ケア会議では、地域で福祉活動に取り組む方や民生委員さんなどから具体的で、熱心な提案が多く寄せられたと認識しています。しかしながら参加した市民から、どのような意見が出されたのかという情報公開が不十分であること、また、出された意見を政策として作り上げ、地域福祉を向上させていこうという市役所の熱意が感じられない、という率直な声が寄せられています。こうした声にどう応えるのかお聞きします。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		増大する管理されない空き家対策について	法律に基づく空家条例の制定と協議会の設置について	高齢化に伴って管理されない空き家が増えています。国がきちんと法律を作り、木更津市も3月議会で条例化し、4月1日施行しました。しかしながら、君津市ではその対策が見えません。法律に基づく有識者を入れた空家等対策協議会さえ作っていません。現在は、近隣の住民や当該自治会が我慢し、苦しんでいるという状態です。こうした市民の悩みにどう応えるのか、方針とスケジュールを具体的にお聞きします。
		児童生徒のための学校再編について	1. これからの本市の武道教育の進むべき方向性について	本市は剣道、柔道、相撲、空手、なぎなた等の武道教育の長い伝統があり、近年、大会などにおいてもその業績は顕著です。本市、また、学校統合が予定される小糸清和地区の武道教育の今後をどう考えているのかお聞きします。
			2. スクールバスと交通空白域の解消への方策について	小糸地区や隣接する周南地区の山間部では民間バス路線も、コミュニティバスもない交通空白域があり、病院や買物に困る市民の声が多く寄せられています。そうした中で宮城県石巻市では住民協議会を設立し、スクールバスを使わない時間に住民バスとして活用しています。こうした政策をどう考えるか見解をお聞きします。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		安全な保育園にするために	公立保育園の耐震・長寿命化をどう進め、保育の充実を図るのか	今年度、社会福祉法人による保育園に係る予算を中心に子育て関連予算が増えたことは非常に良いことです。しかし公立保育園の予算は絞られたままです。保育園の社会福祉法人化は、市立保育園やその保育士の協力があって実現していきます。だからこそ生み出される財源の一部は市立保育園の充実に使われるべきと考えます。 市立としてこれからも運営されると決定した小糸地区の中保育園、小糸保育園、清和保育園、小櫃保育園について、予備診断等で指摘された点はどこなのか、また今後、どのようなスケジュールで改善し、耐震・長寿命化を図っていくのか具体的にお聞きします。 また今後の園が減ること等による保育士の待遇をどう改善していくのか、また財政難により、低く抑えられてきた市立保育園の備品や遊具等、保育の充実に関わる予算をどう確保していくのかお聞きします。

平成 2 9 年第 2 回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議 員 氏 名	大 綱	細 目	質問の要旨
1 2	1 1 番 須 永 和 良 予定日時 6 月 8 日 (木) 14 : 30 ~ 15 : 30	人口減少に歯止め をかける施策につ いて	1. 転出・転入者アンケートの分析について	君津市では転出者・転入者にアンケートを行っています。その中には理由や世帯の構成等、今後の施策に生かすべき重要な情報が含まれています。その分析をした結果を伺います。 また、その結果に対して市はどのような対策をとったのか伺います。
			2. 住宅供給地の開発について	隣の木更津市では住宅開発が盛んに行われ、人口が増加しています。 隣接市が人口増加しているのだから、もう数キロ足を運んでもらい、君津市に住むということも選択肢に入れてもらうような施策が必要であると考えます。 そのためには新たな住宅供給地が必要であり、住宅供給地がなければ、「木更津か君津か」という選択肢になりえません。そこで、一点目として君津市のどこをどのように開発し、住宅供給していこうと考えているのか伺います。 また、マンションの供給も住宅供給の一つです。君津駅南口周辺はほとんど平場の駐車場ばかりです。駅周辺の一等地がこのような状況では発展するはずがありません。政策誘導によるマンション供給が必要です。二点目として居住マンション建設補助事業について見解を伺います。 さらに、今、君津市ではファシリティマネジメントやサウンディングなど新たな手法も取り入れ公共施設の有効活用を模索していますが、すでに更地になっている市有地については積極的に売却していくべきです。売却すれば民間が有効利用し、固定資産税も入ってきます。三点目として未利用の市有地の売却について、見解を伺います。

平成29年第2回君津市議会定例会一般質問通告一覧表

(個人質問)

通告 順序	議員氏名	大 綱	細 目	質問の要旨
		君津駅周辺の活性化について	1. 複合ビルについて	君津駅北口のロータリーを整備する際に、民間活力を使い、複合ビルを建設したいということで図面までありました。その前段としてロータリー整備をぜひ行いたいという説明だったと思いますが、複合ビルの話はどうなったのか伺います。
			2. 君津駅まで来る列車の本数が減った影響について	今までは君津駅まで来ていた列車が木更津で止まるようになり、市民から不便になったとの声を多くいただきました。市はこの影響についてどのように分析しているか伺います。また、久留里線が君津駅まで乗り入れるようになるには何が必要だと考えるか伺います。
		小糸川河口周辺の有効活用について	公設の産業廃棄物最終処分場について	君津市は山間部に民間の産業廃棄物最終処分場がありますが、ここは房総半島の中でも多雨地域であり、平成8年に君津市廃棄物処理施設整備審議会において立地不適正との結論が出ています。市内で産業廃棄物処分場を設置するに適した場所は小糸川河口部と結論付けています。廃棄物の処理は10年後も50年後も続く問題であり、民間の処分場では有事の際に君津市に搬入を停止する権限さえありません。行政の責任において公設の処分場が必要だと考えますが見解を伺います。
		いじめ対策について	加害児童又は生徒の登校停止について	義務教育であつてもいじめ等が認められた場合、加害児童を登校停止にできるようになりました。「学校に行きたい、楽しく学校生活を送りたい」と思う児童、生徒が一部の理不尽で悪質な行為を行う子どもにより、自ら死を選ぶような状況に追い込まれることは到底見過ごすことができません。君津市においてこの措置を取った例があるか伺います。